

羽室行信（はむろ ゆきのぶ）

略歴:

1964年12月22日生まれ。現在、関西学院大学経営戦略研究科准教授。神戸商科大学大学院経営学研究科修士課程修了。データマイニングのビジネス応用を中心として企業における情報システムの研究に従事。データマイニングソフトウェア NYSOL の開発(www.nysol.jp)、JST ERATO、JST CREST への参画、企業からの受託研究などを手がけている。最近の著書に『データマイニングとその応用』（朝倉書店、2008年）。2005年、2008年および2015年に日本OR学会事例研究賞を受賞。その他2006年および2013年度データ解析コンペティション最優秀賞など受賞多数。2012年より(株)NYSOL代表取締役。2016年より株式会社 Magne-Max Capital Management 顧問。

所属学会:

日本オペレーションズ・リサーチ学会、人工知能学会、情報処理学会

研究領域:

データマイニングのビジネス応用（主にファイナンス、マーケティング）

研究業績:

岡田克彦,羽室行信,ステファニー・チュング,株式に匂はあるか?,証券アナリストジャーナル,vol.55,no.3,pp.69-80,2017.

中原孝信、羽室行信、「ビッグデータからの情報抽出とその応用」、日本ソーシャルデータサイエンス論文誌、第1巻,第1号(2017年3月)

岩崎幸子,中元政一,中原孝信,宇野毅明,羽室行信,グラフ構造による相関ルールの視覚化ツール:KIZUNA,日本オペレーションズ・リサーチ学会2017年春季研究発表会,沖縄県市町村自治会館,2017/3/16

羽室行信,岡田克彦,個別株の短期トレンドの連動に基づいたシグナル解析,日本オペレーションズ・リサーチ学会2017年春季研究発表会,沖縄県市町村自治会館,2017/3/16.

羽室行信,岡田克彦,Cheung Stephane,銘柄類似度グラフの時系列構造変化に基づく株価予測,2016年度人工知能学会(第30回),北九州国際会議場,2016/6/8.

羽室行信, 中原孝信, 「ネットワーク構造を対象とした特徴量抽出とその応用」, オペレーションズ・リサーチ, Vol.60. No.8, pp.468-474, 2015.

堀山貴史, 羽室行信, 大都市近郊区間の経路の効率的な列挙と検索, オペレーションズ・リサーチ, vol.60, No.10, pp.600-607,2015.

中原孝信,中元政一,羽室行信, ビッグデータ解析ツール NYSOL —性能評価,並列処理,ビジネス応用ケース—, vol.61, No1, pp.11-18.

中原孝信, 羽室行信,グラフ特徴量を用いた識別モデルによる内在的購買行動の抽出, 2015 年度人工知能学会 (第 29 回) ,はこだて未来大学,2015/6/2.

中原孝信, 河原弘宜, 羽室行信, コーヒーの味覚を評価するための実験計画法, 日本オペレーションズ・リサーチ学会 2015 年秋季研究発表会,九州工業大学,2015/9/10

福島孝志,中原孝信,羽室行信,ランダムウォークシミュレーションを利用した立ち寄り購買モデルによる商圈推定,オペレーションズ・リサーチ学会 2016 年春季研究発表会,慶応義塾大学,2016/3/1

羽室行信,前川浩基,丸橋弘明,「第 7 章 鉄道経路探索への応用」『超高速グラフ列挙アルゴリズム』 ERATO 湊離散構造処理系プロジェクト著,森北出版,2015/4,pp.162-174.

羽室行信、植野剛、鷺尾隆,” 極大クリーク列挙技術のビジネス応用とソフトウェアツール” , 電子情報通信学会, 97(12), pp.1103-1109, 2014/12.

羽室行信、宇野毅明、北島聡, グラフ研磨手法を応用したレコメンデーションシステムの構築,ZOZO Town Data Science Festival Recommend Contest, 2014 年 11 月 8 日.

T. Nakahara, T. Uno, and Y. Hamuro, “Prediction Model Using Micro-clustering”, Knowledge-Based and Intelligent Information & Engineering Systems 18th Annual Conference, KES-2014 Gdynia, Poland, September 2014 Proceedings, DOI: 10.1016/j.procs.2014.08.231, Volume 35, 2014, pp.1488–1494, 2014.

中原孝信, 宇野毅明, 羽室行信, 「マイクロクラスタリングを用いた概念化とモデルの構築」,2014 年度人工知能学会 (第 28 回) , 松山 ひめぎんホール, 2014 年 5 月 15 日

中原孝信, 前川浩基, 宇野毅明, 羽室行信, 「Twitter からのトピック発見における中規模構造抽出の効果」,人工知能学会 第 92 回人工知能基本問題研究会

(SIG-FPAI), 函館市民会館 大会議室, 2014.1.30.

T. Nakahara, Y. Hamuro, "Detecting topics from Twitter posts during TV program viewing", MoDAT in conjunction with IEEE ICDM 2013 in Dallas, Texas. DOI: 10.1109/ICDMW.2013.48. December 7, 2013.

中原孝信, 前川浩基, 羽室行信, 「テレビ番組視聴時における Twitter 投稿からのトピック検知」, オペレーションズ・リサーチ, Vol.58, No.8, pp.442-448, 2013.08.

前川浩基, 中原孝信, 岡田克彦, 羽室行信, 「大規模ニュース記事からの極性付き評価表現の抽出と株価収益率の予測」, オペレーションズ・リサーチ, Vol.58, No.5, pp.281-288. 2013.05.

中原孝信, 宇野毅明, 羽室行信, 「マイクロクラスタリングを用いた単語分類とトピック検知」, アルゴリズム研究会, 花巻南温泉峡 渡り温泉さつき, 2013 年 11 月 6,7 日

中原孝信, 宇野毅明, 岡田克彦, 羽室行信, 「強化学習を用いたブーム検知型トレーディングシステムの構築」, 第 11 回 人工知能学会 金融情報学研究会 (SIG-FIN), 東京大学, 2013,10,12.

前川浩基, 中原孝信, 羽室行信, 「テレビ番組視聴時における twitter 投稿のバースト検知と情報配信の可能性」, 2013 年度人工知能学会 (第 27 回), 富山 国際会議場, 2013.6.5.

中原孝信, 宇野毅明, 岡田克彦, 羽室行信, 「強化学習を用いた相場のブーム検知と株取引への適用」, 2013 年度人工知能学会 (第 27 回), 富山 国際会議場, 2013.6.4.

中原孝信, 前川浩基, 羽室行信, 「オリンピック期間中の Twitter データによるセンチメント分析」, 日本オペレーションズ・リサーチ学会, 2013 年春季研究発表会, pp.108-109. 2013.3.5. 東京大学

前川浩基, 中原孝信, 岡田克彦, 羽室行信, 「大規模ニュース記事を用いた株価収益率の予測」, 日本オペレーションズ・リサーチ学会, 2013 年春季研究発表会, pp.108-109. 2013.3.5. 東京大学

Okada, K., Hamuro, Y., "Predicting Noise Trader Behavior through Mining Newspaper Articles," Learning for Logics and Logics for Learning, 7th Workshop Osaka University, 2011/3.

藤井絵美子, 植野剛, 中元政一, 東高宏, 加藤直樹, 羽室 行信「ホテル業界における口

コミ情報に基づいた顧客満足度予測モデルの構築とポジショニング分析」情報処理学会 WebDB Forum 2011, 2011/11.

岡田克彦、羽室行信「相場の感情とその変動ー自然言語処理で測定するマーケットセンチメントとボラティリティー」証券アナリストジャーナル, Vol.49, No.8, pp.37-48, 2011/8.

中元政一、東高宏、岡田克彦、羽室行信「極性付き評価表現のクラスタ抽出と株価収益率予測への応用」日本オペレーションズ・リサーチ学会 2011 年秋期研究発表会,2011/9.

岡田克彦、中元政一、東高宏、羽室行信「負け犬は誰だ？証券アナリストの格下げにより価値を失う企業の特徴について」人工知能学会 SIGFIN2011, 2011/9.

岡田克彦,羽室行信「テキストマイニングを用いた株式銘柄センチメントの測定とポートフォリオの構築ーマーケット・ニュートラルアプローチー」電子情報通信学会第一回テキストマイニング・シンポジウム, 2011/8.

T. Nakaahra, H. Morita, Y. Hamuro, "Recommender System for Meal Menus Using a Potential Model", The Eleventh IASTED International Conference on Artificial Intelligence and Applications, February 14-16, 2011.

岡田克彦、羽室行信『新聞記事に現れる投資家心理と株価』第 18 回日本ファイナンス学会全国大会, 2010/5.

羽室行信、岡田克彦、森田裕之『周辺文脈アプローチを利用した新聞記事内容と株価に関する分析』日本オペレーションズ・リサーチ学会全国大会, 2010/9.

岡田克彦、羽室行信、森田裕之「テキストマイニングを利用したノイズトレーダーの行動予測に関する研究」FIT2010 ERATO 湊離散構造処理系プロジェクトシンポジウム, 2010/9.

岡田克彦、羽室行信「ファイナンス研究における新しいアプローチーテキストマイニングを用いた投資家心理の数値化についてー」,『ビジネスアンドアカウンティングレビュー』, 第 6 号, 2010/12.

中原孝信、森田裕之、羽室行信、本橋信次、「中古車オークションデータを用いた自動車リースの査定条件に関する分析」オペレーションズ・リサーチ, Vol.54 No.2, pp.65-72. 2009.

Cheung, S., Hamuro, Y., Morita, H., Katoh, N., "KGMOD: Powerful Data Processing and Mining Tool for KDD", Asia Pacific Conference on Information Management (APCIM2009), 2009/3/27.

中原孝信, 森田裕之, 羽室行信, 米田知弘, 「ポテンシャルモデルを利用したメニュー推>薦システムの提案」, 平成 20 年度 データ解析コンペティション最終成果報告会, 2009/3.

羽室行信, 森田裕之, 「大学が主導するソフトウェア基盤技術の開発と普及の可能性 – KGMOD の開発事例を通じて」, 第 3 回横幹コンファレンス, 2009/12.

H. Morita, T. Nakahara, Y. Hamuro, S. Yamamoto, "Decision Tree-based Classifier Incorporating Contrast Patterns", The 13th IEEE International Symposium on Consumer Electronics (ISCE2009), May 25-28, 2009, Mielparque-Kyoto, Kyoto, Japan, 2009.

羽室行信, 中西正雄, 山本昭二, 「統合化顕在パターン判別モデルによる Web アクセスログデータの分析」, オペレーションズ・リサーチ, 53, 2, 2008/2.

森田裕之, 中原孝信, 羽室行信, 原田博実, 片本一平, 本橋 信次, 米田知弘, 「残価に影響を与える傷パターンを利用したオートリース戦略に関する分析」, 平成 18 年度 データ解析コンペティション成果報告会, 2008/3.

森田裕之, 羽室行信, 加藤直樹, 中元政一, 松田康之, 「大容量データに対する高速データマイニングシステム-KGMOD-」, 経営情報学会 2008 年度秋季全国研究発表大会, 2008/11.

森田裕之, 中原孝信, 羽室行信, 山本昭二 「多面的メディア接触の消費者購買行動への影響分析」 日本マーケティングサイエンス学会第 8 3 回研究大会, 2008/6.

羽室行信, 中西正雄, 山本昭二, 「Emerging Sequence Pattern に基づく Web アクセスログデータからの知識発見」, 日本マーケティングサイエンス学会, 2007/6.

羽室行信, 中西正雄, 山本昭二 「Web アクセスログデータを用いたデータマイニング手法の CRM への応用」 日本マーケティングサイエンス学会第 8 2 回研究大会, 2007/12.